



平成26年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月1日
上場取引所 東

上場会社名 日本ファイルコン株式会社
コード番号 5942

URL <http://www.filcon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 名倉 宏之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理・経営企画管掌 (氏名) 齋藤 芳治
兼管理本部長
兼経営企画室長

(TEL) 042-377-5711

四半期報告書提出予定日 平成26年10月7日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第3四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第3四半期	18,043	5.2	972	26.5	1,129	2.0	844	10.9
25年11月期第3四半期	17,157	6.2	768	—	1,106	—	761	—

(注) 包括利益 26年11月期第3四半期 927百万円(△57.1%) 25年11月期第3四半期 2,165百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第3四半期	38.29	—
25年11月期第3四半期	34.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年11月期第3四半期	31,526	14,177	44.2
25年11月期	32,082	13,637	41.8

(参考) 自己資本 26年11月期第3四半期 13,939百万円 25年11月期 13,408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	0.00	—	6.00	6.00
26年11月期	—	3.00	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,800	3.5	1,000	15.0	1,200	△4.8	900	△20.7	40.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年11月期3Q	22,167,211	25年11月期	22,167,211
② 期末自己株式数	26年11月期3Q	436,076	25年11月期	35,092
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年11月期3Q	22,049,962	25年11月期3Q	22,132,222

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、従業員持株ESOP信託が保有している当社株式(400,700株)を含めております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融緩和策により、企業収益の改善や雇用・所得環境の持ち直しがみられるなど国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一部は、一部の国や地域における政情不安、欧米諸国の財政問題や新興国経済の減速といった海外経済の不安要素もあり、先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループの主要取引先である国内紙・パルプ業界は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要は見られたもののその反動による影響や、原燃料価格の上昇など依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、国内及びアジア地域を中心とした拡販活動に注力するとともに、厳しい環境下での収益確保を目的として、生産・販売・サービス体制の強化を継続して実施するとともに、平成26年2月25日付で、社内カンパニー制を採用し、各カンパニーが一定の責任と権限のもとで事業特性に応じた施策をよりタイムリーに意思決定できる組織体制へ移行いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高18,043百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は、売上原価率が前年同期に比べ0.7ポイント改善したことにより972百万円（前年同期比26.5%増）となりました。経常利益は、為替差益が前年同期に比べ207百万円減少したものの、営業利益が増加したことにより1,129百万円（前年同期比2.0%増）、四半期純利益は844百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①産業用機能フィルター・コンベア事業

製紙製品分野では、主要顧客である国内紙・パルプ業界は、消費税率引き上げ後の反動による影響で減産を実施するなど国内需要は依然として低迷しており、厳しい状況で推移いたしました。このなかで当社グループでは、継続して生産体制の効率化を進め、高付加価値製品等を提案することなどにより、国内市場におけるシェア確保に努めるとともに、不織布製造用網を含めアジアを中心とする海外市場において積極的な拡販活動を展開してまいりました。この結果、国内売上高は需要の低迷により減少いたしましたが、海外販売数量の増加により、為替相場の変動による影響もあり当分野の売上高は増加いたしました。

その他の産業分野では、海外向け材料販売や化学メーカー向けニッケル製網の売上は前年同期と比較して減少したものの、国内の食品業界向けなどのコンベアの売上が堅調であったことに加え、海外向けフィルターと海外の防蟻施工事業が好調かつ為替の影響もあり、当分野は総じて堅調に推移いたしました。

高機能吸着剤分野では、金属吸着カートリッジフィルターやにおい吸着繊維の拡販を積極的に行いました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は12,657百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益は1,113百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

②電子部材・マスク事業

エッチング加工製品分野では、医療機器向け製品やOA機器向け製品での当社の加工特性を活かした製品微細加工技術の向上による高付加価値製品の開発及び受注に注力いたしました。また、得意分野とする大型・中型タッチパネル製品の拡販活動と量産に向けた試作を実施いたしました。想定した受注を確保できなかったことにより、当初計画に対して未達となりました。この結果、前年同期には大型諸口製品の売上を計上していたことから当期の売上高は減少いたしました。販売数量の増加により収益性は改善しております。

マスク製品分野では、低迷する国内半導体産業の再編・集約が進む等厳しい状況で推移したなか、当社グループでは、得意分野とするパワー半導体向けや、MEMS関連等の非半導体分野を含め積極的な拡販活動を展開したことなどにより、前年同期と比べ売上高及び営業利益は増加いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は既存の製品に加え太陽光発電システム設備の売上が寄与したことから、3,241百万円（前年同期比17.4%増）、営業利益は16百万円（前年同期営業損失101百万円）となりました。

③環境・水処理関連事業

水処理製品分野では、公共投資の増加等、市場は緩やかな回復傾向にあるなか、期首に子会社アクアプロダクトにおいて事業統合効果を最大限に発揮すべく組織を改編し販路の拡大を行うとともに、全自動水泳プール循環ろ過装置「クリーンアクア」やろ過装置一体型プール「スマートアクア」を新たに販売を開始するなど、幅広い提案力をもってプール本体およびろ過装置と工業用クロフタ排水処理装置の受注活動に注力いたしました。

その他の分野では、車両連結器や絶縁継手、高比重コンクリート「Gコン」といった製品の受注活動を積極的に行いました。

結果、当セグメントに属する株式会社アクアプロダクトの前年同期が決算期変更で11ヶ月決算であったことに加え、当期は大型プール案件の売上が前期と比較して少なかったこともあり、当セグメントの外部顧客への売上高は1,395百万円（前年同期比10.1%減）、営業利益はコスト改善もあり119百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、既存の賃貸物件に加え、前期に完成し賃貸を開始した大阪市淀川区の賃貸マンションの賃料収入が増加したことや、大型の保守管理費用が当期は発生しなかったことにより、売上高及び営業利益は前年同期と比べ増加いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は749百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は531百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の分析

流動資産は、前連結会計年度末に比べ306百万円減少し、14,740百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が172百万円、商品及び製品が98百万円、原材料及び貯蔵品が86百万円それぞれ増加し、現金及び預金が712百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ250百万円減少し、16,785百万円となりました。これは主として、建物及び構築物が135百万円、機械装置及び運搬具が252百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ556百万円減少し、31,526百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ649百万円減少し、9,932百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が460百万円、賞与引当金が238百万円それぞれ増加し、短期借入金が539百万円、1年内返済予定の長期借入金が480百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ447百万円減少し、7,415百万円となりました。これは主として、長期借入金が385百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,096百万円減少し、17,348百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ540百万円増加し、14,177百万円となりました。これは主として、「従業員持株E S O P信託」の導入に伴う自己株式の取得により純資産が181百万円減少し、利益剰余金が645百万円（四半期純利益844百万円、剰余金の配当199百万円）増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月期の連結業績予想につきましては、平成26年1月10日公表の業績予想から変更しております。

なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「平成26年11月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,027,412	2,314,906
受取手形及び売掛金	6,561,966	6,734,226
商品及び製品	2,904,339	3,002,754
仕掛品	843,233	835,161
原材料及び貯蔵品	1,100,901	1,187,892
その他	697,524	766,843
貸倒引当金	△88,302	△100,999
流動資産合計	15,047,075	14,740,783
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,123,710	4,988,455
機械装置及び運搬具(純額)	3,191,871	2,939,664
土地	3,656,126	3,655,275
その他(純額)	321,308	416,361
有形固定資産合計	12,293,016	11,999,757
無形固定資産		
のれん	868,091	825,715
その他	234,153	265,180
無形固定資産合計	1,102,244	1,090,896
投資その他の資産		
投資有価証券	2,274,690	2,291,695
リース投資資産	501,252	487,215
その他	880,311	927,188
貸倒引当金	△15,896	△11,532
投資その他の資産合計	3,640,358	3,694,566
固定資産合計	17,035,619	16,785,220
資産合計	32,082,695	31,526,004

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,179,294	3,639,807
短期借入金	3,202,606	2,663,575
1年内返済予定の長期借入金	2,007,685	1,526,975
未払法人税等	116,651	81,482
賞与引当金	53,496	291,658
役員賞与引当金	19,000	—
その他	2,002,715	1,728,792
流動負債合計	10,581,450	9,932,291
固定負債		
長期借入金	4,184,345	3,798,561
退職給付引当金	496,625	452,367
役員退職慰労引当金	330,663	271,083
長期預り敷金保証金	1,791,190	1,678,077
資産除去債務	108,788	109,015
その他	951,863	1,106,624
固定負債合計	7,863,478	7,415,729
負債合計	18,444,929	17,348,021
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,685,582	2,685,582
資本剰余金	1,912,324	1,912,324
利益剰余金	8,729,540	9,374,578
自己株式	△28,115	△210,154
株主資本合計	13,299,331	13,762,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	215,572	193,700
為替換算調整勘定	△106,506	△16,599
その他の包括利益累計額合計	109,066	177,101
少数株主持分	229,368	238,552
純資産合計	13,637,766	14,177,983
負債純資産合計	32,082,695	31,526,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
売上高	17,157,475	18,043,497
売上原価	11,287,053	11,740,605
売上総利益	5,870,422	6,302,892
販売費及び一般管理費	5,101,833	5,330,750
営業利益	768,589	972,142
営業外収益		
受取利息	1,396	1,235
受取配当金	26,971	34,446
為替差益	220,307	12,915
持分法による投資利益	155,214	124,283
その他	93,722	108,477
営業外収益合計	497,613	281,360
営業外費用		
支払利息	108,236	80,286
その他	51,375	44,058
営業外費用合計	159,612	124,345
経常利益	1,106,589	1,129,157
税金等調整前四半期純利益	1,106,589	1,129,157
法人税等	336,879	276,519
少数株主損益調整前四半期純利益	769,710	852,637
少数株主利益	8,534	8,411
四半期純利益	761,176	844,225

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	769,710	852,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	221,268	△21,872
繰延ヘッジ損益	△24	—
為替換算調整勘定	1,068,785	83,266
持分法適用会社に対する持分相当額	105,793	13,929
その他の包括利益合計	1,395,822	75,323
四半期包括利益	2,165,533	927,961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,116,051	912,260
少数株主に係る四半期包括利益	49,481	15,700

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,108,576	2,761,768	1,552,246	734,884	17,157,475	—	17,157,475
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,199	120	488	—	9,807	△9,807	—
計	12,117,775	2,761,888	1,552,734	734,884	17,167,282	△9,807	17,157,475
セグメント利益 又は損失(△)	1,142,096	△101,492	126,390	487,687	1,654,682	△886,093	768,589

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△886,093千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,657,186	3,241,582	1,395,555	749,173	18,043,497	—	18,043,497
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,651	—	241	—	4,892	△4,892	—
計	12,661,837	3,241,582	1,395,796	749,173	18,048,389	△4,892	18,043,497
セグメント利益	1,113,583	16,983	119,866	531,138	1,781,572	△809,430	972,142

(注) 1 セグメント利益の調整額△809,430千円は、内部取引にかかわる調整額1,150千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△810,580千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。